

さいたま NEWS マツチングファンド

平成23年度事業報告

vol.3



目

● マツチングファンド事業とは…………… 2

次

● 一般助成事業…………… 3

● 平成23年度事業報告…………… 4～5

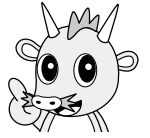
● 団体希望助成事業…………… 6～7

● マツチングファンド事業への寄附について…………… 8



マッチングファンドとは？

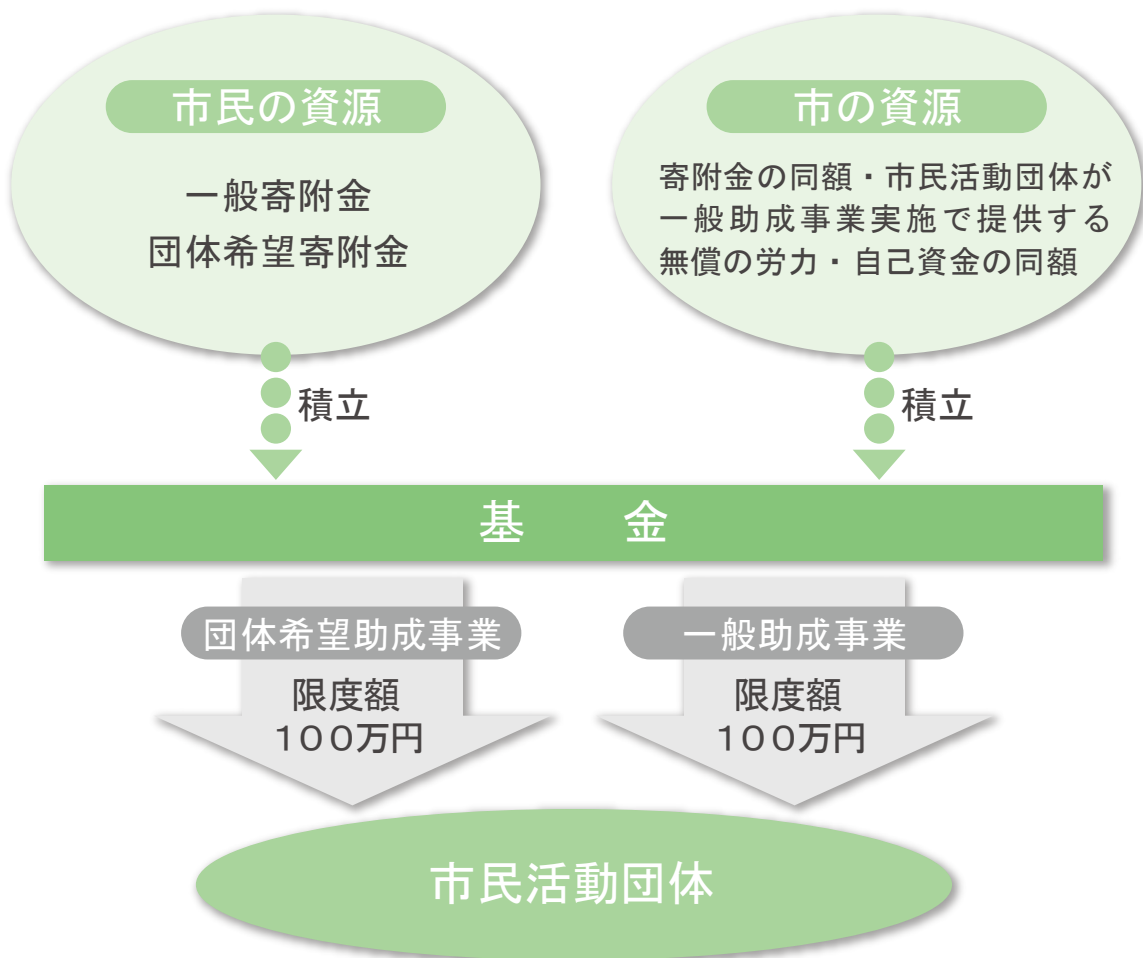
行政だけではなく、地域社会を構成する多様な市民が公共の担い手としてまちづくりに参加する「新しい公共」という考え方に立ち、市民活動及び協働を推進することにより活力のある地域社会の実現を進めるため、市民の皆さんが市民活動に参加・応援しやすくなる環境づくりの一環として「さいたま市市民活動及び協働の推進基金」を創設しました。



寄附には、一般助成寄附と団体希望寄附があり、助成事業も一般助成事業と団体希望助成事業の2種類あります。一般助成寄附は、さいたま市の市民活動全般を応援する寄附金です。この寄附金は、市からの積立金とあわせて、一般助成事業（3ページをご覧ください）に活用させていただきます。実施の際には、市民活動団体が提供する無償の労力を1人1時間500円で換算した額及び自己資金と同額の市の財源も基金に積み立て（市民の資源とのマッチング）、助成事業の原資とします。

団体希望寄附は、基金に登録している市民活動団体を希望して応援する寄附金です。この寄附金は、団体希望助成事業（6～7ページをご覧ください）に活用させていただきます。

マッチングファンドのイメージ図





一般助成事業

市民活動団体から、市と協働して地域課題の解決のために、事業目的が一つの区にとどまらない公益的な事業で活力のあるまちづくりに貢献する事業を募集し、さいたま市市民活動推進委員会での審査を経て、市民が協働事業のために提供する自己資金・無償の労力・寄附に見合った金額を助成するものです。

事業の流れ



事業実績

平成 23年度は4事業を実施しました。詳しくは、4・5ページをご覧ください。

平成 24年度は6事業を実施する予定です。

● 昔ながらの米作りを体験しよう

【プロジェクトH&健康教育課】

見沼んぼ内の田んぼで児童生徒が米作りを体験することで、見沼の自然を楽しみながら、食物への感謝の気持ちを高めてもらうことを目的とする事業です。

● 「河童ぶち公園」(仮称)の市民参加と協働による水辺緑地計画

【こうぬま・水と緑を楽しむ会&与野まちづくり事務所】

南与野駅西口土地区画整理事業に隣接する高沼用水路西縁の水辺緑地計画に向け、市民参加による管理運営を踏まえた基本案を検討する事業です。

● 三世代子育て応援事業

【にこにこハッピーハウス&子育て企画課】

高齢者及び子どもとその親と一緒に過ごせる場を提供し、世代間の交流を促すことで、多世代が関わる子育て環境をつくることを目的とする事業です。

● 見沼代用水東縁カヌーツアー

【特定非営利活動法人地域人ネットワーク&みどり推進課】

シニア世代を対象としたカヌーツアーサポーターを養成し、親子を対象に「見沼代用水東縁カヌーツアー」を行い、見沼たんぼの保全への理解を深めることを目的とする事業です。

● 食育は農業体験から

【ファームイン・さぎ山&健康教育課】

児童生徒に見沼田んぼにおける農作業体験活動を通して食への理解を深めてもらい、農業のもつ多面的機能の理解を図る事業です。

● 市民記者による「さいたま“市民活動”情報」発信プロジェクト

【特定非営利活動法人埼玉情報センター&市民活動支援室】

市民活動や地域の情報を市民目線で発信する「市民記者」の養成と「市民活動情報」の広報ツールの作成を行い、継続的な情報発信の仕組みを作ることを目的とする事業です。



平成23年度事業報告

【特定非営利活動法人岩槻まちづくり市民協議会 × 観光政策課・岩槻区観光経済室】



地域観光活性化を主目的とする レンタサイクル事業



● 岩槻駅前周辺にレンタサイクル受付窓口を設置し、観光客を主対象とした自転車の一時貸出（レンタサイクル）事業を実施しました。公共交通機関の不足を補い、来訪者の行動範囲を拡大させることにより、観光客誘致を推進し地域経済の活性化を図りました。

参加人数 217名

助成金交付額 684,979円

岩槻は比較的観光資源に恵まれています。観光都市機能及び施設が十分とは言えません。そこでエコで健康増進に役立ち、駐車スペースも少なく済む自転車の導入を実験的に実施し、観光客誘致を目指しました。その結果、①自動車運転免許を持っている人でも自転車の法規を守らない、又は知らない②車道の自転車走行エリアは排水のための傾斜や排水溝があり危険なことがある③事業のPR及び採算性の難しさ④観光だけでなく、地域の移動手段としてのニーズ、などがわかりました。

今後はコミュニティサイクルとしても地域貢献ができる運営を考え、自転車関連法規の周知活動の必要性、歩道分離による自転車専用レーンの確保と歩行者安全対策を検討していきたいと思っております。（特定非営利活動法人岩槻まちづくり市民協議会）

【さくらっこらぶ × 子育て企画課】



さいたまパパ・スクール 第2期



● 平成22年度に開催されたパパ・スクールを受講した父親が企画・運営を行い、講座を通して子育てを楽しむために必要な業や知識を学ぶとともに、パパ友づくりやネットワークの構築を行いました。受講生による運営体制の確立を図り、事業終了後も継続して地域活動を実践できる仕組みづくりを行いました。

参加人数 120名

助成金交付額 344,000円

当事業は、パパがパパを育てる循環型プロジェクトとして、延べ120名にも上るパパさん達にご参加頂き、大成功に幕を閉じることが出来ました。

スクールの卒業生は、パパ、ママ、子供、地域の各視点から、ワークライフバランスとパパ力向上、独りよがりのイクメンパパにならない秘訣、生まれてきてくれた尊い命に対する感動と感謝、そして地域に根付いて活躍する優しさ等を学びました。

そんな気づきと学びの機会を提供する事業が、マッチングファンド事業として開催できたことは非常に有意義であったし、これをきっかけに、地域に根ざしたパパネットワークの輪がますます広がっていけば幸いです。（さくらっこらぶ）

【特定非営利活動法人ころとまなびどっとこむ × 青少年育成課】



青少年の居場所づくりと コミュニケーション力の育成

● 青少年の心身ともに健康な成長を促すため、スポーツや遊びを通じて青少年が社会や地域と関わる機会を作り、コミュニケーション力の向上を図りました。また、講演会や交流会を通して、青少年に関わる保護者や地域住民の方と連携して、青少年のコミュニケーション力の育成と居場所づくりを行いました。



参加人数 240名

助成金交付額 392,530円

青少年の居場所づくりとコミュニケーション力の育成を目指し、昔遊び（けん玉やコマ等）を通じての異年齢交流を柱とした「遊びの学校」、運動能力の測定を通じて体力づくりや健康に関する交流を柱とした「フィジカルフィットネス大会」を実施しました。両イベント共、企画から運営までを青少年のボランティアによって行うのみでなく、多くの市民の方々にも参加頂き、参加した青少年においては、学校以外での大人や子ども達との異年齢交流の場（居場所）が実現出来ました。

また、さいたま市内で活動している生きづらさを抱える青少年への支援機関との連絡会を実施。青少年と社会をつなぐ居場所づくりの話し合いを行政と協働で出来た事は、マッチングファンド事業として取り組めた大きな成果でした。

（特定非営利活動法人ころとまなびどっとこむ）

【NPO法人自然観察さいたまフレンド × 環境対策課・みどり推進課】



見沼たんぼの 自然観察及び調査

● 見沼たんぼの北西部エリアを舞台として、市民と共に学ぶ自然観察会を組織し、自然環境調査を定期的実施することで、多くの市民が見沼たんぼの素晴らしさを実感し、見沼たんぼの原風景を守り育てる仲間の輪を広げました。「見沼たんぼの自然観察及び調査2011」を作成し、貴重なデータをまとめることが出来ました。



参加人数 887名

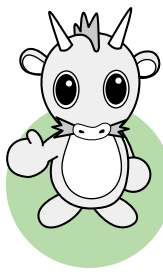
助成金交付額 307,886円

これまでも様々なイベントで行政との事業を行ってきましたが、今回初めてマッチングファンド助成事業に取り組むことが出来ました。これにより、さいたま市との連携が一層強まり、市民・市民団体・行政が協力して見沼たんぼ地域の自然を守り育てる一つの道筋が見えてきました。

一般市民のイベント参加者は、埼玉県南部に止まらず全県下と東京都からも多数見えました。首都圏のど真ん中で、斜面林と田圃の一体化した里やまの風景と生き生きとした野生動植物の姿に、多くの市民が驚嘆し、感動していました。

これから私たちは「未来遺産・見沼たんぼプロジェクト推進委員会」の一翼を担いながら、埼玉県・さいたま市とも連携して活動を進めて行きます。

（NPO法人自然観察さいたまフレンド）



団体希望助成事業

団体希望助成事業は、団体希望寄附金が寄せられた基金の登録団体が、団体の活動趣旨に沿って、地域又は社会の課題解決のためにひとつの区の区域を超えて行う、非営利で公益的な活力のあるまちづくりに貢献する事業です。

市民や企業等から団体を希望して寄附をいただき、その寄附金を活用して実施する「団体希望助成事業」の対象となるためには、あらかじめ基金の登録団体となる必要があります。

登録制度の概要は次のとおりです

- ① 団体登録の申請は随時受け付け、さいたま市市民活動推進委員会の審査を経て登録が決定します。委員会による審査は年7回程度予定しています。
- ② 登録を決定した団体については、市のホームページ上で活動を紹介し、寄附を募集します。登録団体は市民や企業に対して自らの活動等を積極的に発信し寄附を募ります。
- ③ 登録団体の支援を希望する寄附があった場合、登録団体がその寄附を活用して行う公益的な事業に対して助成します。助成は4月と10月の年2回実施します。
- ④ 助成金は、さいたま市市民活動推進委員会の審査を経て、交付を決定します。寄附者の意向は尊重いたしますが、必ずしも団体の申請どおりに決定されるとは限りません。また、寄附金の一部は市民活動全般に対する助成事業に活用されます。
- ⑤ 登録の有効期間は登録決定の通知の日から3年間です。引き続き登録を希望する場合には、改めて申請手続きを行っていただきます。

申請用紙のダウンロードや登録の要件等詳しくはこちら↓

<http://www.city.saitama.jp/www/contents/1268733793260/index.html>

ご寄附いただいた方のご紹介

〔一般寄附分〕※申出書受付順

- 浦和商业開発 株式会社 様
- 株式会社 ムトーセーフ 浦和支店 様
- 株式会社 伊勢丹 浦和店 様
- 浦和総業 株式会社 様
- 埼玉土建一般労働組合さいたま北支部片柳分会 様
- さいたま市リサイクル女性会議浦和 様
- 中山道浦和宿・二七の市実行委員会 様
- 浦和駅東口市民広場もちつき大会実行委員会 様
- 大林不動産株式会社プロパティマネジメント 様
- 匿名希望の方々

総額 917,792円のご寄附をいただきました。
ご協力ありがとうございます。



〔団体寄附分〕

- 株式会社 ユアーズ・コーポレーション 様
(寄附先 ドリームアートさいたま)

登録団体紹介

特定非営利活動法人 NPO 福祉・医療用専門カツラ 支援センター	頭髪の脱毛した方々の、心の内面的閉塞感又外面的容姿に対し自信を自覚するよう、カツラの施術でサポートを行い、学校又は社会に復帰し社会貢献に寄与する事を目的としています。
特定非営利活動法人 みれっと	広く一般市民を対象として、主に食や環境に起因するアレルギー疾患の発症予防に関する相談対応及び普及・啓発を行い、さらには、子どもの保護者の仲間づくりを通じて保護者が抱える多様な社会問題等の解決に努め、もって公益の増進に寄与する事を目的としています。
特定非営利活動法人 生涯学習コーディネート協会	地域の学習者に対し、生涯学習に必要な情報提供や学習要求を満たす学習内容を提供する教育活動に関する事業を行い、全ての学習行動に寄与する事を目的としています。
ファームイン・さぎ山	都市近郊農業活動に従事する婦人の立場から、都市住民との交流を通して、農業および農家生活の理解と関心を深めると同時に、会員相互の研さんと心豊かに生き生きとした生活を楽しむことを目的としています。
特定非営利活動法人 都市づくりNPOさいたま	まちづくりに関する様々な課題に取り組むために、建築、土木、都市計画、環境、産業経済等の専門的な立場から活動及び支援を行い、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的としています。
アシスト浦和 2 1	誰もが生活の場である地域で自分らしくいきいきとした老後を過ごせるようなまちづくりを目指すことを目的としています。
北浦和総合型地域スポーツ・ レクリエーションクラブ 「ふれあいプレイランド」	スポーツ・レクリエーションの普及と振興を図り、青少年の健全な心身の育成に寄与するとともに、子どもから高齢者までの異世代の多様な交流を活性化し、あわせて会員の健康増進を図ることにより、人々の健康で楽しい地域の創造に寄与することを目的としています。
ドリームアートさいたま	主にさいたま地域で活動するアーティストや障がいを抱えるアーティストに対し、プロモーション活動や作品を発表する場づくりを支援し、芸術の振興を通じて地域の人々が共生しながら豊かに暮らせる社会の実現に寄与することを目的としています。
特定非営利活動法人 地域伝統文化推進機構	日本古来の伝統文化を次世代に伝えることを目的としています。
こうぬま・水と緑を楽しむ会	高沼用水流域の市民参加のまちづくり・「河童の森」づくりを目的としています。
浦和ユースオーケストラ	オーケストラ活動の活性化と青少年育成を目的としています。
NPO法人 自然観察さいたまフレンド	自然保護につながる自然観察を活動の原点として、自然環境保全や環境教育の諸活動をつうじて、みどり豊かなまちづくりの推進に寄与する事を目的としています。
このまちで暮らす会	住み慣れた我が家で暮らし続けるための生活サポートシステムを、生活圈ごとにつくることを目的としています。
浦和日本語ボランティアグループ 「くすのき」	在留外国人の日本語学習を支援すること、それを通じて国際交流を深めることを目的としています。
特定非営利活動法人 岩槻まちづくり市民協議会	岩槻区内各分野で活躍している団体、区民の知恵と経験を結集し、さまざまな提案及び推進活動をすることにより、にぎわいと魅力あるまちづくりに寄与することを目的としています。
特定非営利活動法人 環境ネットワーク埼玉	市民、事業者、行政機関と連携して、地球温暖化防止などの環境保全活動を推進することにより、将来にわたり持続可能な循環型社会の構築に寄与することを目的としています。

マッチングファンドへの 寄附募集中!!



さいたまマッチングファンドは、市民のみなさんが寄附を通して市民活動に参加したり、支援したりできる仕組みとして設置しています。住みよいまちづくりのために、寄附を通しての参加、応援をよろしくお願いいたします。

寄附の手続きは？

市民活動支援室までご相談ください。寄附申出書をお渡しいたします。HPからもダウンロードできます↓

<http://www.city.saitama.jp/www/contents/1268732557676/files/kifumousidesyo.xls>

税制上の優遇措置があります！

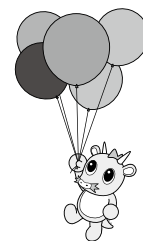
マッチングファンドへご寄附いただくと、税制上の優遇措置があります。

- 寄附者が個人の場合→住民税の寄附金税額控除および所得税の寄付金控除が受けられます。
- 寄附者が法人の場合→法人税額の算定上、全額損金算入できます。

※詳しくは、最寄の税務署または、住所地の市区町村にお問い合わせください。

お礼を差し上げます☆

- 1万円以上5万円未満の寄附をされた場合→さいたま市PRキャラクター「ヌウ」の「ヌウぐるみストラップ（非売品仕様）」
- 5万円以上の寄附をされた場合→「ヌウぐるみ（非売品仕様）」を差し上げます。



お問い合わせ先

さいたま市市民・スポーツ文化局市民生活部
コミュニティ推進課市民活動支援室

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町11-1

TEL 048-813-6403 FAX 048-887-0164

E-MAIL katsudo-shien@city.saitama.lg.jp

このパンフレットは、4,000部作成し、1部当たりの印刷経費は、21円です。